

令和5年度第2回和光市図書館協議会会議要録	
日 時	令和5年10月3日(火) 14時～15時30分
場 所	和光市役所 404会議室
出席者	(委員長)石川 敬史 (副委員長)星 佳芳
委員	柳下 和弘 長谷川 香月 荒井 恵子 小熊 尋子 関口 泰典 新井 明日香
事務局	本館館長 小林 理恵 下新倉分館館長 戸田 直美 主査 橘高 わかな 主査 樋口 純司 主査 吉澤 実幸 主任 磯崎 智美 主任 片岡 彩
欠 席	星 佳芳 渡邊 肇 鈴木 啓修
傍聴者	0人
	<ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱書 交付式 2 教育長あいさつ 3 図書館協議会委員の自己紹介 4 委員長及び副委員長の選出について 5 諮問 6 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1)「和光市教育振興基本計画(令和3年度～令和7年度)」について (2) 令和5年度図書館関連予算及び図書館事業について (3) その他 <p>【事前配付資料】</p> <p>資料1 委員名簿</p> <p>資料2 諮問書(写)</p> <p>資料3 答申書(令和5年7月31日)</p> <p>資料4 和光市教育振興基本計画(令和3年度～令和7年度)(抜粋)</p> <p>資料5 令和5年度 図書館予算資料</p> <p>資料6 和光の教育(抜粋)</p> <p>資料7 令和4年度 市町村図書館活動調査結果一覧</p> <p>資料8 第3次和光市図書館サービス計画</p> <p>資料9 第4次和光市子ども読書活動推進計画</p> <p>資料10 「これからの和光市図書館のあり方」検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより9月号 <ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱書 交付式 2 教育長あいさつ 職員自己紹介 3 図書館協議会委員の自己紹介 4 委員長及び副委員長の選出について

事務局	<p>次第4 委員長及び副委員長の選出につきましては、現在、委員長が空席でございますので、委員長が決まるまで、図書館長が仮の委員長を務め、会を進行いたしますのでよろしくお願いいたします。</p>
小林館長	<p>それでは、委員長が決まるまでの間、仮の委員長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>和光市図書館管理運営規則第22条第1項に基づき、これより委員長及び副委員長の互選に入ります。まず、委員長につきまして、立候補いただける委員さんはいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>立候補なし</p> <p>おられないようですので、それでは事務局案をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局案として、石川委員を推薦させていただきます。</p>
小林館長	<p>ただいま、事務局案として、石川委員を推薦したいとの発言がありました。石川委員を委員長に決することよろしいでしょうか。</p> <p>異議なし</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、委員長が決まりましたので、ここからの議事につきましては、石川委員長にお願いいたします。</p>
石川委員長	<p>議事を進行させていただきます委員長の石川です。前期から委員長を努めさせていただいております。</p> <p>委員の皆様方のご経験や様々な実践をなさっていらっしゃると思いますので、そういったご見地からぜひ積極的にご発言をいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、審議を継続いたしまして、和光市図書館管理運営規則第22条第1項に基づき、副委員長の互選について議題といたします。立候補いただける委員さんがいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>立候補なし</p> <p>おられないようですので、事務局案をお持ちでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局からの推薦として、本日欠席ですが星委員を推薦したいと思います。</p>

石川委員長	<p>本日欠席ではございますが、星委員を副委員長として、決定することによろしいでしょうか。</p> <p>異議なし</p>
石川委員長	<p>ありがとうございます。続きまして、次第5 諮問について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>諮問につきましては、図書館法第14条第2項に基づき、図書館長が行うこととなっています。それでは、館長よろしく申し上げます。</p>
小林館長	<p>資料2について説明</p> <p>図書館協議会は、地域住民の声を図書館運営に反映させるため、公募委員を含め10人で構成する協議会です。図書館の運営に関して館長の諮問を受けて図書館サービスについての意見を述べる機関で、学校教育及び社会教育関係者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命すると定められております。任期は2年間となっております。</p> <p>なお、会議開催数につきましては、来年度は3回を予定しております。</p> <p>本日は、第1回目の会議となりますので、委嘱式、委員の皆様との顔合わせ、和光市図書館の説明となります。</p> <p>来年度以降、図書館サービス計画の評価及び「これからの和光市図書館のあり方」の検討をしていただく予定です。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、改めまして、委員長、進行をお願いします。</p>
石川委員長	<p>本日は、委員総数10人中、出席委員7人です。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第6 議事 (1) 和光市教育振興基本計画について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(1) 和光市教育振興基本計画について説明 (資料4)</p>
石川委員長	<p>ありがとうございました。和光市教育振興基本計画は、期間が令和3年度～7年度ということで、現在、進行中の計画です。</p> <p>公立図書館の位置付けというのは、教育や社会教育の文脈の中で、市の教育委員会の中に位置づけられているところが1つの大きなポイントです。総合的な教育計画の中に、図書館行政というものが位置づけられています。子どもの読書、ビジネス支援、老朽化に伴う環境整備など、誰もが等しく学ぶことができる環境整備を整える、という位置付けになっています。</p> <p>委員の皆様から何かご意見はございますでしょうか。</p> <p>それでは意見が無いようですので、(2) 令和5年度図書館関連予算及び図書館事</p>

	業について、事務局から説明をお願いします
事務局	(2) 令和5年度図書館関連予算及び図書館事業について説明（資料5～7）
石川委員長	ありがとうございます。資料5については、現在動いている予算ですね。前年度との比較について説明がありましたが、お気付きの点やご意見ご質問等はございませんでしょうか。
荒井委員	公共図書館に納品される本の価格というのは、多少割引されているのでしょうか。
事務局	図書館に納品される本は、カバーをかけたり、バーコードのシールが付いた状態で納品されるので、それも含めた定価になっています。
荒井委員	今は単行本など刷る部数が少ないので、単価が上がっていると思います。新聞代は増額し、図書館の本の予算については例年通りなんだなど。値上がりが激しいので、本の予算が増えないのは、市民として寂しいです。
事務局	本が値上がりしているので、それに伴って資料費の予算を上げてもらわないと、購入冊数が減るということです。
石川委員長	図書館の中では、資料費はとても大切です。学生の授業では、資料費とは血液のように例えられます。新しい本を購入して、また専門書はストックしていくんですが、利用価値損失というか、古くなった資料を除籍していくというように、人間の血液に例えることができるのが図書館の資料費です。 あまりにも予算が少なくなってしまうと、魅力的な本が購入できないということになり、利用もずいぶん下がってしまいます。ご指摘の通り、資料費の確保はとても大切です。
新井委員	資料6の団体貸出について、保育園や小学校は借りているのですが、幼稚園などにも団体貸出をする予定はありますか。
事務局	計画策定時に、各幼稚園にアンケート調査を行った際、図書館から団体貸出を希望するか意向を確認していますが、現状は、希望する園はありませんでした。多分、幼稚園などは、園独自で本を揃えてらっしゃるのかなと思います。もしご希望があれば、貸出したいと考えています。
石川委員長	小学校、学童、保育園、支援センター、高齢者施設へも団体貸出をされていて、数も多く重いので、物流を展開していくことはなかなか難しいところではあると思います。子どもの読書を推進していくという意味では、一定量の団体貸出を行っていくことが非常に大事なことで、こういった団体貸出を広げていって欲しいと思い

	<p>ます。</p> <p>令和3年度からコロナ禍で有料宅配サービスを始めているかと思いますが、利用状況について教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>令和3年4月1日から有料宅配サービスを始めましたが、実際に利用された方は今までいらっしゃいません。</p> <p>障害を抱えられ、来館が困難な方へは郵送貸出サービスを以前から行っており、こちらは実績があります。</p>
石川委員長	<p>コロナ禍で、図書館としては、市民に本を届けていこうということでこのサービスが開始されたと思うのですが、職員の皆さんが工夫をしながら規定を作って開始されたと思います。</p>
柳下委員	<p>資料6の8リクエスト件数の推移とありますが、コロナ前と比べずいぶん増加していると思うのですが、リクエストを受けたフィードバックとして、どういう系統の本が多いとかどれくらいの年代が多いなど、どんなことがわかりますか。</p>
事務局	<p>リクエストの件数については、和光市図書館にある本とない本両方が含まれています。和光市図書館では、ホームページから所蔵していない本もリクエストができます。図書館によっては、所蔵していない本については、ホームページからリクエストできないというところもあります。</p> <p>ホームページからリクエストができるようになってから、所蔵していない本をリクエストする件数が増加しておりまして、それがこの結果に繋がっていると思います。</p> <p>傾向としては、パソコンが利用できる方、利用したことでその便利さを知った方、1人1日5件までリクエストが可能ですが、週に何回も新発売の本を5件ずつリクエストされる方が増加しています。人気の著者の本ですと、数人の方がリクエストされます。</p>
石川委員長	<p>未所蔵資料のリクエストが増加しているとのことですが、全ての資料を購入するというわけではなく、和光市図書館として選書基準に基づいて、購入されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>全て購入することはできないので、基準を基に選書会議で購入しないことが決定した場合には、他の図書館から借りて、利用者に提供できるようにしています。3相互貸借数からもわかるように、借受数も増加しているので、図書館に所蔵しているものだけでなく、所蔵していなくてもリクエストすれば提供してもらえるということが、利用者にも浸透しているように思います。</p>
石川委員長	<p>相互貸借数の増加をみると、図書館ネットワークを活かした展開がされているこ</p>

	<p>とがわかります。図書館は建物ではなく、図書館ネットワーク・システムだと言われています。一館だけでは目的は達成できず、図書館ネットワークを活かして、他館から資料を取り寄せて限られた資料費の中で選書していく。図書館ネットワークを活かした活動が展開されていると思います。</p> <p>資料7の令和4年度市町村図書館活動調査結果一覧ですが、数字で評価するというのは難しく、活動の中身もあると思いますが、よく図書館の業界で使われている人口1人当たりの図書購入費や、人口1人当たりの蔵書冊数、人口1人当たりの貸出冊数が指標として出てきます。</p> <p>数字ですので、これが一人歩きしてしまう部分もあるのですが、和光市は人口1人当たりの蔵書冊数が他市と比べると少し低くなっています。和光市全域への図書館サービス、アクセスポイントが十分に整備されていないなど、自治体のそれぞれの理由があると思います。</p> <p>図書購入費、蔵書冊数、貸出冊数が一番多いのはさいたま市ですが、人口規模と図書館数が違います。ただ、人口1人当たりの図書購入費となるとさいたま市は下位の方になるので、人口規模が影響します。</p> <p>よく県内で三芳町の事例が出てくるのですが、人口1人当たりに関する箇所を見ると、大体上位に入っています。子どもの読書活動が非常に積極的に展開され、職員として図書館司書が採用され、学校司書も配置され、学校図書館と連携されています。県内で読書の町として推進しており、歴史的に積み重ねた活動がある町です。</p> <p>和光市は、近隣市と比べると気になるところはあります。</p> <p>それでは、時間に限りもありますので、続いて説明をお願いします。</p>
事務局	(2) 令和5年度図書館関連予算及び図書館事業について説明（資料8～10）
石川委員長	<p>資料8の重要な所として、第3次和光市図書館サービス計画のP.15～17に和光市図書館が目指す将来像や方向性が掲載されています。</p> <p>ちょうど走っている計画になりますので、次回以降に協議会で具体的な進捗状況をご報告いただき、委員の皆さんと評価し、ご議論いただくことになるかと思いますが、何かお気づきの点などいかがでしょうか。</p>
長谷川委員	<p>”身近な図書館”ということ思い出したことがあるのですが、登録をすると和光市からLINEで情報が入ってくるのですが、最近、図書館からも情報が多く入ってきています。今まで全く知らなかった図書館に関する情報が入ってくるので、こんなことをやっているという情報を得られて、とてもありがたいです。その情報について、友だちと共有したりしています。周りに知らない方もかなりいたので、情報を発信していくことは素晴らしいことだなと感じました。</p>
事務局	<p>和光市のLINE、市・図書館X（Twitter）を利用して事業の周知を行っています。</p>

<p>小熊委員</p>	<p>図書館サービス計画策定に伴うアンケート調査の結果から読み取れる課題として、地域によって図書館の利用頻度が異なっています。例えば白子地区は分館が遠いです。本館から遠い方は、光が丘、成増、朝霞図書館を利用しないしは、利用しない方もいると思います。和光市民が他の地域の図書館を利用している件数など調査されていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>朝霞地区四市では統計を取って、共有しています。板橋区、練馬区とは共有はしていません。</p>
<p>小熊委員</p>	<p>白子地区は課題があると思いますので、どの位の人数が他の図書館を利用しているのかわかれば、数値的に変わってくるのではないかと思います。</p>
<p>石川委員長</p>	<p>住民側の視点からすれば、自治体の境は関係なく、生活圏、生活の距離的などが重要です。例えば、買い物、子育て、学校なども。</p> <p>自治体域で考えると難しく、近隣市との連携というのをこれからどう展開していくのか課題と思います。他市の利用状況については、その市町村の図書館要覧に記載されているかもしれませんが、お調べいただければと思います。</p> <p>資料9 子ども読書活動推進計画については、読書というと図書館だけではなくて、市全体でどのように子どもの読書活動を推進していくかということがこの計画のポイントかなと思います。P. 29に記載されているものをみると、公民館や子育て関連の施設、学校教育課など、市の様々な部署と連携していく計画ですが、こちらについても次回の協議会の中で進捗状況を委員の皆さんと共有していくことになります。</p> <p>資料 10 「これからの和光市図書館のあり方」検討については、資料8 和光市図書館サービス計画P. 25にあるように、本館の老朽化への対応として、新館建設の検討を踏まえながら、次回以降の協議会でまとめて答申案を作っていくという話が事務局からありました。</p> <p>本館は複合施設として40年を迎え、協議会の中でも、毎回、施設の老朽化についての議論があり、職員の皆さんは、様々な修繕を重ねて対応しながら、施設管理をされています。少しずつ修繕しながらということも限界がきてしまっているので、これを機に和光市における図書館のあり方を協議会で議論していくという資料になります。</p> <p>資料3は前期の協議会で答申させていただいたものですが、毎年、協議会でサービス計画に関する評価をしていますが、資料3の2段落目にあるように、基本施策Ⅲ施策4図書館施設等の保全については、「不十分」と評価しました。根本的な老朽化といえますか、図書館職員が鋭意持続的に対応している修繕対応等では物理的に及ばないと判断したと記載されています。</p> <p>ただ、新しい図書館を作ったり構想していけばいいかというと、そうではなくて、図書館というのは、法律上、社会教育のための機関、教育政策の中で位置付けとい</p>

	<p>うのが非常に大きく、司書という専門職の採用や電子書籍などの導入もありますので、誰にでも開かれた市民の学びを保障していくというような、ありがたい姿を協議会でも検討していく必要があるのではないかと思います。</p> <p>また、前回の協議会の委員からご指摘いただいておりますが、各学校に配置されている学校司書が、子どもたちの身近な生活の足元に本の専門家を配置し、学校の先生方とも連携しながら読書を推進していくというようなご意見もありました。図書館アドバイザーの役割が非常に重要で、勤務日数の充実などを踏まえながら、委員の皆様からお知恵を拝借しながら進めていければと考えています。</p>
関口委員	<p>資料10に新館建設に向けた具体的な検討とありますが、非常に夢のある希望があることなんですけども、上位計画に整合するというのは重々承知なのですが、和光市公共施設等総合管理計画が改定され、単体では市が建物を作らないという流れになっています。ですから我々がこんな図書館が欲しいと夢を膨らませたいところですが、実は市の上位計画の範囲で言うと、分館のようなあらゆる施設が集まった複合的なイメージを持たなくてはいけないという部分があります。</p>
	<p>都市計画マスタープランや、立地適正化計画も策定中ですが、具体的に街をどういうふうコンパクトに作っていくかということ積み重ねながら方向性を出すんですが、もうこの辺に機能を集めているというイメージが出てしまうんですが、協議会として答申を出すときに、どこまで話し込みができるのか、ただの夢を膨らませただけで終わるのか、今後の考え方などあると思いますので、お知恵をいただきながら進めていけたらいいなと思います。</p>
石川委員長	<p>他の自治体もそうですが、単体では施設を作らないという総務省との関わりなどもあると聞いていますが、複合施設化をしながら、施設を建てていくということ、また、立地の件についても重要なことでここではすぐにといいわけではないのですが、立地を視野に入れながら令和6年度の答申でどのあたりのレベルまで提出していこうかというご質問でした。</p>
事務局	<p>関口委員のご指摘のとおり今後は複合化ということは聞いておまして、複合化になるにしても今後の図書館の機能としてどういうものが必要なのかということがないことには話が進まないということがありました。本当は、ここに土地があつて、ここにこれだけのいい建物が建てられてついでというのであれば本当に夢があるんですけども、そうではないことを見据えつつ、現実を見据えた上で、これからどういった機能が和光市の図書館に必要なか、複合化するにあたって考えていけたらと思います。</p>
石川委員長	<p>図書館の運営の面では、前期の答申にもあるように、専門的な図書館サービスをどう展開していくとか、図書館は教育機関でもあるので、文化的な役割があると思うのですが、児童文学、朗読など、芸術文化を振興していくという切り口もあるのかなと思いますので、和光市図書館の推進の柱をぜひ委員の皆様からご議論いただきたいです。</p>

	<p>また、先進市を見学に行ったり、写真や事例を見ながらブレインストーミングを委員の皆さんとできたらいいのかなと思います。</p> <p>利用者や市民の皆さんと何かしらの形で関われるというか、そういったプロセスがあってもいいのかなと思います。</p>
事務局	<p>次回開催するときには、和光市の現状を説明させていただきます。</p>
石川委員長	<p>(3) その他について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>次回の会議につきましては、来年度6月頃に開催したいと考えております。</p> <p>新委員さんも図書館を利用されている方もいらっしゃるかと思いますが、お時間ある際に、本館・分館含め、職員が館内をご案内いたしますので、よろしくお願ひします。</p>
石川委員長	<p>その他、何かご質問やご意見などありますでしょうか。</p> <p>それでは、本日、予定されました議事が全て議了しましたので、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>委員長ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもちまして令和5年度第2回和光市図書館協議会を終了させていただきます。皆様、ありがとうございました。</p>